

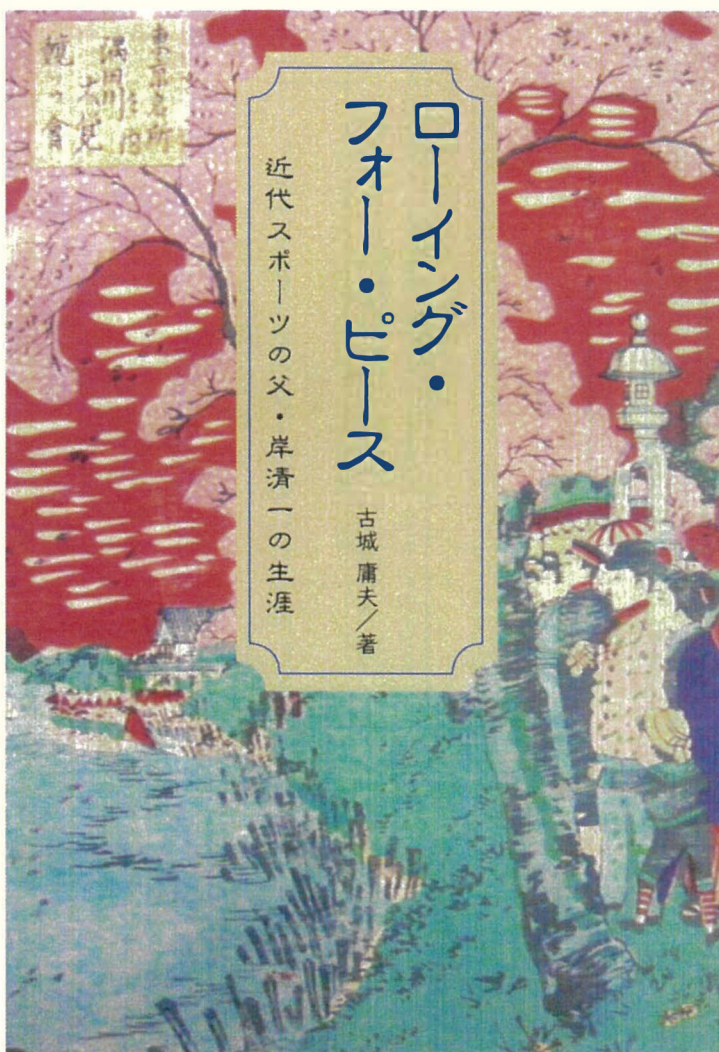
ローイング関連書籍新刊案内

日本ローイング協会初代会長

岸 清一の生涯を活写する

ローイング・フォー・ピース

近代スポーツの父・岸清一の生涯



近代スポーツの父・岸清一の生涯

ローイング・
フォー・ピース

古城庸夫／著



岸 清一とは

初代大日本体育協会会長の嘉納治五郎に次いで二代目会長に就任した岸は、実母の妹が養母となって育て、のちに平和総裁と言われた若槻禮次郎（元総理大臣で同郷のいとこ）たちと協力して皇紀二六〇〇年（昭和十五年）に東京オリンピック招致開催することで、戦争に向かおうとしていた日本に平和をもたらそうと考えていたのではないかと思います。

また近代スポーツの父と呼ばれる岸は、スポーツの発展とオリンピック参加を通して、日本の近代国家の仲間入りに尽力しましたが、その裏には当時、隅田川で大人気となっていた東大のボート競技の人脈フラタニティがあったと思います。嘉納治五郎もボートを漕ぎましたし、若槻は選手、岸もレガッタの国内大会優勝者です。また東京市長の中村是公と水田秀次郎もボート選手ですし、初参加のアムステルダム五輪短距離の三島弥彦も学習院時代はボート選手でした。

さらに中村の親友の夏目漱石も大会役員に名前を運んでいます。これらの事実はあまり知られていません。特に夏目が旧制第五高校のボート部の部長になった裏には、それらボート繋がりがあったと思われる。

今回は前著『幻の東京オリンピック』の夢にかけた男（春風社、二〇一六年）で紹介しきれなかった、若槻禮次郎との友情などの逸話を取り上げてみました。

著者プロフィール●古城 庸夫

近代ボート競技歴史研究者・江戸川大学社会学部経営社会学科特任教授。

1955年生まれ。神奈川県立深久井高校、日本大学文理学部体育学卒業、筑波大学大学院体育学部コーチ学修士課程修了。

江戸川学園取手高校ボート部創部。インターハイ二連覇。世界ジュニア選手権大会（イタリア開催）日本代表参加。全日本学生選手権大会準優勝、優勝。筑波大学ボート部監督として伝統ある強豪校の復活へと導く。全日本選手権大会六位入賞。

日本ボート協会において指導者育成委員会委員、広報委員会スタッフを兼任。全国でボート競技講習会の講師を務める。近代スポーツ史の中のボート競技と岸清一に関する講演多数。

著書に『江戸川学園取手高校ボート部物語』、『フェアバンのローイングノートに学ぶ』、『コーチ入門』、『幻の東京オリンピック』の夢にかけた男——岸清一物語』。現在は約40年かけて収集したボート競技関連の資料を保存、公開する方法を模索中。

日本ローイング協会 元理事長 舘次郎氏推薦
「すべてのローイングファンに読んでいただきたい一冊です」

本書は書店では入手困難です。
ご購入希望の方は以下までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

古城庸夫（江戸川大学）

メール：ykojo@edogawa-u.ac.jp

電話：04-7152-0661（江戸川大学代表）

住所：〒270-0198千葉県流山市駒木474

頒 価：3,200円（税・送料込み）

判 型：四六判

頁 数：272頁

発売日：2023年1月31日

※売り上げの一部は協会に寄付されます